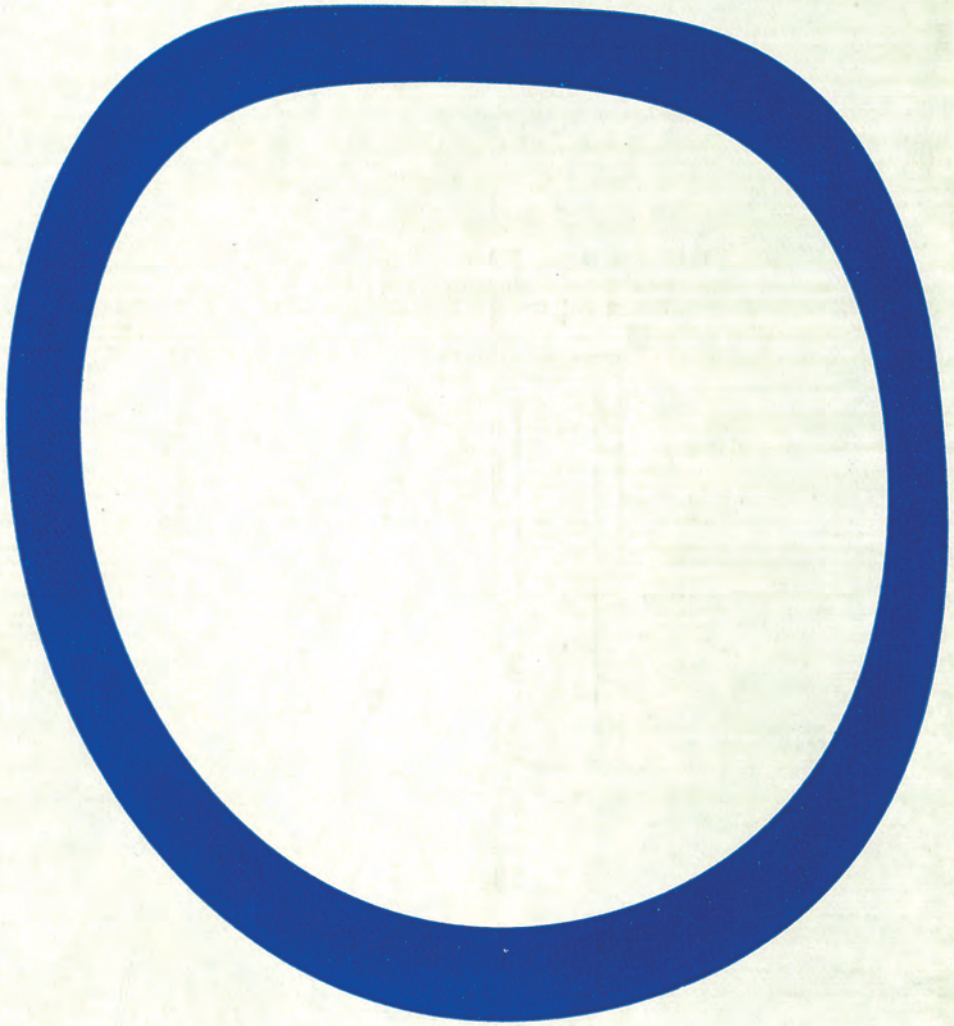
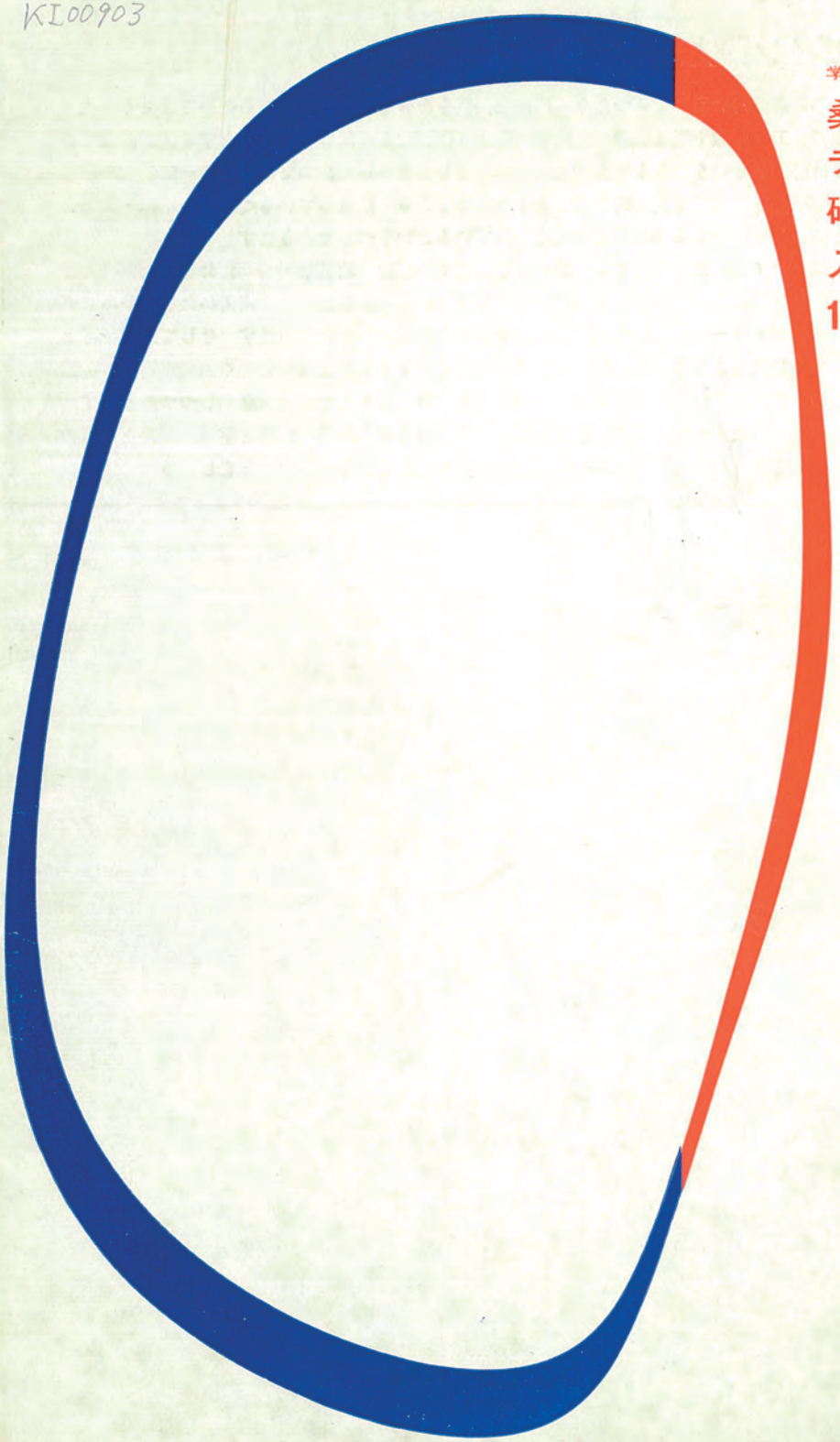
KI00903





学校法人 桑沢学園

桑沢デザイン研究所 入学案内 1963

桑沢デザイン研究所
東京都渋谷区北谷町32 TEL 461/5330・8853・5717

1部リビングデザイン科

●1年

1年では各種の分野のデザインに共通する基礎の学習として　造形感覚をみがき　その構成力をのばすことを大きい目標としています　それは雄弁や理窟にまさるデザイナーの能力として欠くべからざるものだからであります　ここでは固定した概念にとらわれないで　いろいろの材料用具による実習の中で　新しい物のみかたや考えかたを　それぞれの学生が感じとることに重点がおかれています　それは個性的なかたよりと本質的な原理の対立の上に身についてゆくものといえましょう

また専門分化する傾向にある現代のデザイン活動に　対応してゆける巾のある全人的な成長を確かなものにするために　基礎的な各種の教養科目も重視されます

第一歩から始める人のためにも　また既に経験をもつている人のためにも　現代デザインのそれぞれの分野やそれらの関係の　正しい理解と志望の選択のために　各種分野のデザインの概括的なオリエンテーションとしての授業も組まれています　また2年の学習の展開を容易にするための　初歩的な要素技術の指導も行われることになつています

科目内容

●基礎造形

Ⅰ構成実習　色彩・平面・立体・構造
Ⅱ表示練習　図法・描法・文字
Ⅲ表現実習　絵画・彫塑

●基礎デザイン

Ⅰ生活空間　Ⅱ生活機器　Ⅲ視覚伝達

●教養学科

Ⅰ一般教養　英語1・自然科学概論・社会学その他　Ⅱ造形教養　造形原論1・その他

●2年

2年は1年の基礎的な学習の上にたつて　やや具体的な条件をともなつたデザインの綜合的な基礎学習にはいります

造形的な感覚をますますみがき　構成的な思考力をいつそう伸ばすための学習を継続発展させることはもちろんですが　機能・構造・意味などの条件を生産技術的な抵抗や特性をとおして造形的に統合する発想や過程の体得を包括的で基礎的な課題によつてなされます

具体的には視覚伝達および工業生産の立場からヴィジュアルデザインとプロダクトデザインの専攻の学習形態に傾け　ヴィジュアルの面では印刷・包装・写真などの基礎的なデザインや技術実習に　また　プロダクトの面では工業デザイン・室内住宅デザインなどの基礎的な実習に重点がおかれて指導されることになります

ここでも職人的技術の伝習でなく　自主的で創造的な態度や追求が期待されることはいうまでもありません　そのためにも　また　現代のデザイン活動に要求されるバツクボーンとかたくなでない理論を獲得するためにも　広い教養学科が組まれています

科目内容

●基礎造形

Ⅰ構成実習　Ⅱ表示練習　Ⅲ表現実習

●ヴィジュアルデザインの基礎

グラフィックデザイン・パッケージデザイン

●写真の基礎

●プロダクトデザインの基礎

インダストリアルデザイン
インテリア・住宅デザイン

●教養学科

造形原論2・デザイン概論2・心理学・現代文明論・英語2・その他

●3年

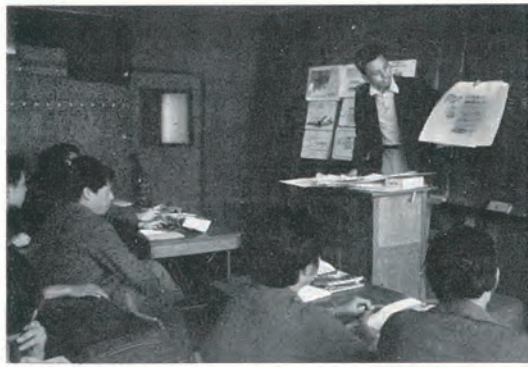
2年の課程を良い成績で修めた人で　ライフワークとしてデザイナーの道を進もうとする志の確かな人の中から　適性の専攻の審議の上　個人指導とチームワークの可能な少数に選抜してそれぞれの専攻ごとにデザインの専門教育が行なわれます

共通に課せられたり　また　いくつかのコース群に関連のある協同の研究活動もありますが主としてグラフィックデザイン　パッケージデザイン・写真・インダストリアルデザイン・インテリア・住宅デザインの専攻コースに配属されます　そして各専攻コースの主任教授を中心とする第一線のデザイナーや理論家　教育者としての教師のもとで　研究所独自の課題研究が討議や実習によつて進められ　それぞれの学生が専門家としての地道な研鑽を深めてゆきます

そこでは　直接教師の人柄　思考過程　技術指導にふれるとともに自主的な問題解決の態度や考えかたが啓発されます　また特殊講議や工場見学などによつて現場の実際も指導されたり志望の職場実習が行なわれたりして　各分野に新鮮な寄与の出来る自信や希望がわいてくるものといえましよう　　年限こそ3年でありながら大学にまさるともおとらない教育の成果をおさめつつあることは　よい教師を得て特色ある基礎教育と経験豊かな専門教育との響きあいのたまものというべきでしよう

専攻科目

●グラフィックデザイン
●パッケージデザイン
●写真
●インダストリアルデザイン
●インテリア・住宅デザイン



1部ドレスデザイン科

●1年

1年は　3年間のドレスデザイン教育の基礎学習にあたります　そこで次の3項に重点をおいて指導されます

1.デザイン感覚をみがき　構成力を系統的にたかめます

2.当所が独自に研究した合理的な製図と裁断理論にもとずいて　技術の実習をします

3.単なる洋裁のための感覚　技術の学習のみでなく　デザインを学ぶものにとつて必要な造形教養および一般教養を学び　広い視野をもつた人間として成長することに主眼をおいて学ばせます

科目内容

●基礎造形

構成実習　色彩の基礎理論と実習

表現実習　(絵画)

石膏デッサン・ヌードデッサンその他

●教養学科

Ⅰ造形教養　デザイン教養

Ⅱ一般教養　社会科学・芸術概論・英語 1

●ドレスデザイン

デザイン理論1とデザイン実習1

ドレスの構造・性格・用途　個性と体型　産業とデザイン　生活とデザイン　布地の知識　流行解説

ドレスデザインの基礎感覚実習

量感の研究　配色の基礎

技術理論1と技術実習1

基礎製図理論と実習　縫製実習

●2年

2年は　1年から積み重ねられて来た基礎造形とドレスデザインの基礎理論および実習が　更に充実した内容をもつて系統的に把握されるようになつています　基礎理論と対応させながら応用面へ展開し　デザインの発想実習をかさねて次第にドレスデザインの方向へ焦点をしぼり各人の個性を発見しながら創造力を高めさせます　技術面でも　基礎製図の発展からモデリングまで指導がなされ　デザインの実際的な表現技法として習得させることになります

各種の教養科目も範囲が広くなり充実した内容が組まれ　見学も学科と併行して実施されます

科目内容

●基礎造形

構成実習　平面・色彩

表現実習　(絵画)　ヌードデッサン

●教養学科

Ⅰ造形教養　近代造形史・服装史・デザイン論

Ⅱ一般教養　心理学・経済学・英語2・仏語1

●ドレスデザイン

デザイン理論2とデザイン実習2

基礎理論の展開

デザインの発想練習

デザインの感覚練習

コスチュームドロウイング

技術理論2と技術実習2

基礎製図の展開

応用製図の理論と実習

被服材料　繊維の種類・性能・用途

●3年

ドレスデザイン科の最終コースであり　職業人として社会に巣立つ人達を選出して構成するクラスです　デザイン実習では豊富な課題にとり組んで創造力と表現力を高め　現場デザイナーに必要な広範囲の知識　教養を身につけます

技術面では高度の裁断理論と立体裁断を中心にデザインの表現技法を深めます

また　すぐれた現場デザイナーや技術家による個性ある感覚と深い体験による指導が多角的に組まれ　将来専門家としての実力の養成をはかつているのが特色です

ドレスデザイナーとして近年特に必要とするテキスタイルデザインを専攻出来る科目もありその他に選択科目として　モードドロウイング構成実習・文字・レイアウト・写真実習・帽子手芸実習や高度の技術実習などを研究することが出来ます

教養科目は　文学・音楽などを中心に　広くデザインの発想のもとと　社会人としての巾の広い人間形成に役立たせるよう組まれています

また　各種の見学も併せて実施されます

科目内容

●デザイン理論3とデザイン実習3

●技術理論3と技術実習3

●被服概論

●テキスタイルデザイン

●ヴィジュアルデザイン

●基礎造形

●教養学科

桑沢デザイン研究所教育の趣旨

デザインは製品の表面的な装飾であつたり　単に購買欲をあおるための表現であるのではなく　人々の生活のために　工業生産や視覚伝達・生活環境をより快適なものにしてゆこうとする造形活動であつて　単なる自己表現というよりも社会的表現といえましよう　したがつてデザイナーは現代の産業や社会がはらむ矛盾を解決する文明的な使命をもつものであり　離間している＜人間と機械・美術と技術・精神と物質＞を総合する創造活動を期待されているというべきであります

そのために桑沢デザイン研究所の教育は　鋭い造形感覚や構成力　的確な技術　また豊かな創造力を身につけるために　造形と技術の面から実習をとおして　新しい物の見かたや考えかたをつかみ　デザインの本質やデザイナーの正しい態度を体得させることに重点をおいています　そして広い視野と深い教養をもつた社会人として　現代産業の組織のなかでデザインをとおしてよく協同理解し　根強く謙虚に社会の進歩に貢献しうる人材の育成に力がそそがれ　着々とその成果を示しつつあります

それは　当初から純粋なデザイン教育の場として　基礎教育と専門指導　実習と学科　個性と原理のひびきあう特色ある教育計画と　第一級の教授陣の指導の賜物というべきでありましよう

沿革

創立にさきだつ十数年以前より　桑沢所長はバウハウスの教育方針および内容に共鳴　以後デザイン活動をとおして　いつそう本格的なデザインの基礎教育の必要性を痛感するにいたつた　こうした所長の理想と情熱に共感された現教授の方々の協力をえて　東京都港区青山に桑沢デザイン研究所＜所長　桑沢千代（洋子）＞を設立した

昭和29年（1954）4月――桑沢デザイン研究所設立

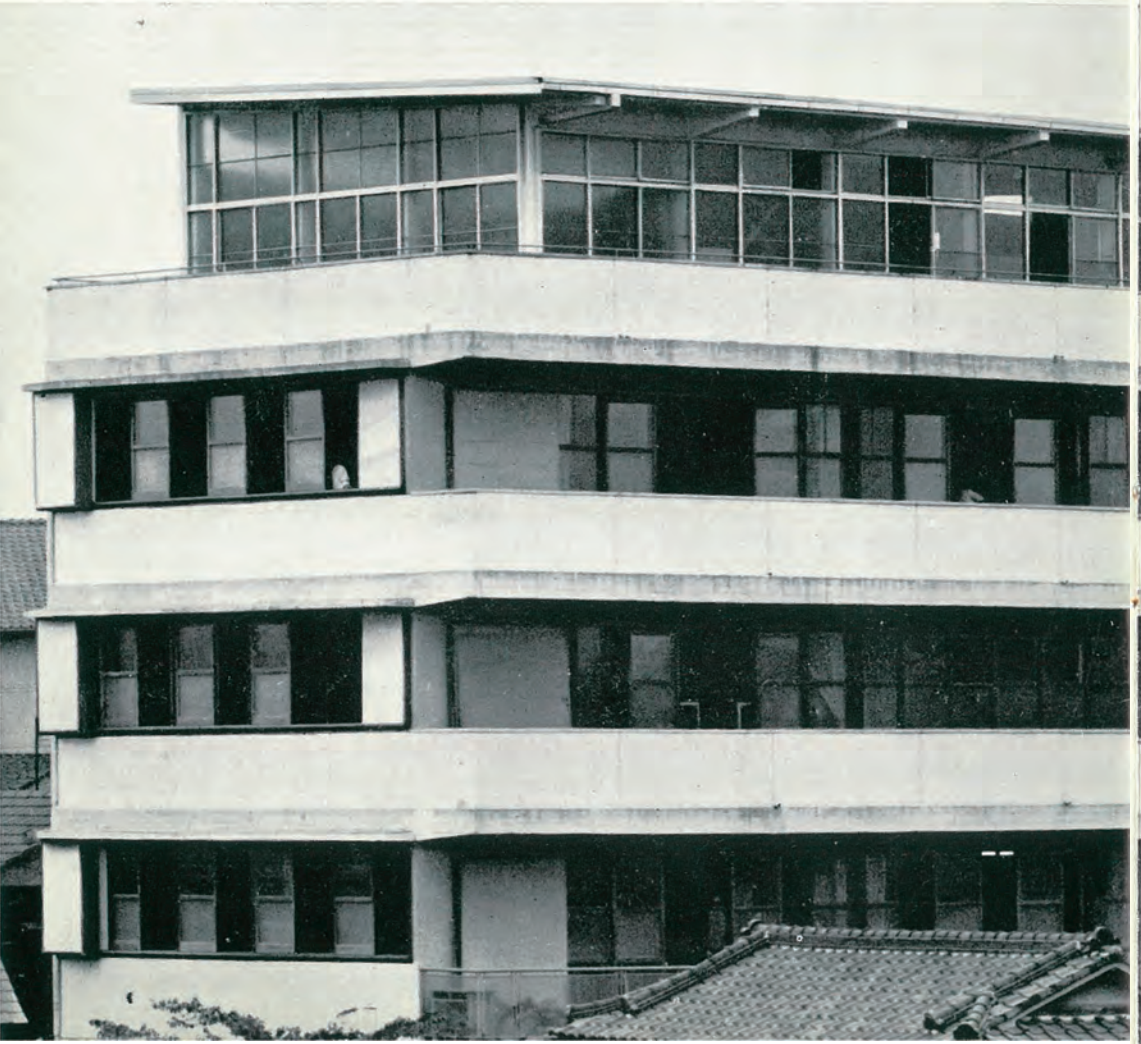
昭和32年（1957）12月――学校法人・桑沢学園　桑沢デザイン研究所となる

昭和33年（1958）4月――校舎を現在の渋谷区北谷町に新築移転
（鉄筋コンクリート3階 延371M²　設計・増尺 洵建築設計事務所）

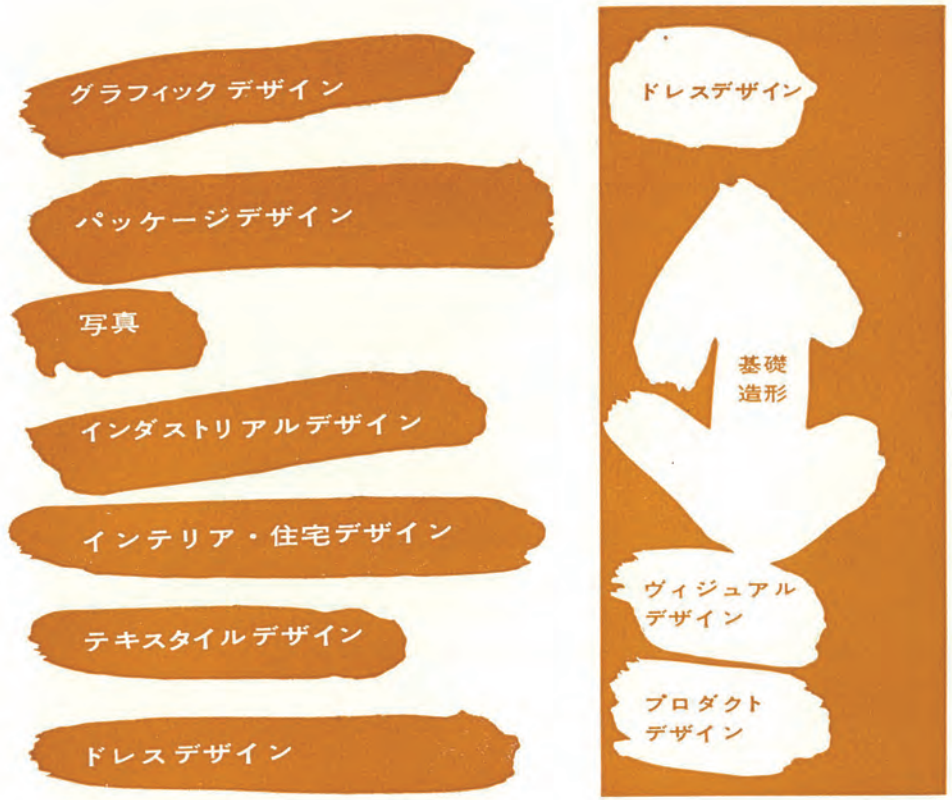
昭和35年（1960）4月――第1次増築（延 1,303M²）

昭和36年（1961）12月――第2次増築（延 1,615M²）

現在　教職員 130名　学生総数 1,300名



学年・クラスの編成



教員

●所長
桑沢　洋子

●教養
芦原　初子
阿部　公正
井上恵美子
岩波　正幸
宇野　善康
神之村黒白子
霧生　和夫
来栖　義郎
佐藤　毅
島田　厚
鈴木　保良
高根　正昭
丹野　郁
丹生　久吉
信定　宏郎
林　進
浜口　隆一
村上　一郎
山田　耕雲
山田　正吾
山口　茂
清原　悦志
佐藤　忠良
高橋　芙蓉
高橋　正人
高山正喜久
田中　淳
羽原　粛郎
真鍋　一男
森田　信夫
矢野目　鋼
上野　操
須賀　攸一
宮沢タイ子

●基礎造形
朝倉　摂
岩野　勇三
海本　健

●ドレスデザイン
青木美津枝
東　昇
安東　武男
飯塚春次郎
五十嵐都美
石津　謙介
海本　小織
大空　淑子
小川　安朗
桑沢かね子
桑沢　君子
桑沢　洋子
根田　みさ
近藤百合子
酒井シズ子
笹原　紀代
佐藤みさ子
鈴木栄三郎
谷　長二
谷　二三
徳永八重子
豊田　高代
塙　経亮
平田　暁夫
前田　晃子
真野　誠二
宮内　裕
本吉春三郎
森　妍子
諸岡美津子
柳　悦孝
柳沼恵美子
山本　良子
湯原　五郎
四本　貴資
木村美知子
小谷　光子
近藤　英
中島　道子
福村千英子
村岡　寿枝

●ヴィジュアルデザイン
栗津　潔
石元　泰博
伊藤　知己
宇野亜喜良
大辻　清司
片山　利弘
勝井　三雄
勝見　勝
河合　玲二
川俣　正一
杵島　隆
木村　恒久
草刈　順
古口　謙二
斉藤久寿雄
佐藤敬之輔
杉田　豊
田中　一光
塚田　敢
東松　照明
永井　一正
羽仁　進
浜田　浜男
目島　計一
矢沢　宏司
山本隆太郎
横山　徳禎
脇　リギオ

●インダストリアルデザイン
青木恒太郎
芦原　晋
淡島　雅吉
内村　喜之
金子　至
知久　篤
手塚　敬三
豊口　克平
ヨセフ糠沢
松吉　正也
皆川　正
村越　康
石倉　厳
魚住　双全

●インテリア住宅デザイン
狩野　雄一
北村　吉一
佐々木雄二
篠原　一男
白石　勝彦
新庄　晃
清家　清
林　雅子
松村　勝男
山口勇次郎
川島　忠一

●特別講師
今泉　武治
亀倉　雄策
剣持　勇
小池　光三
清水幾太郎
重森　弘淹
高橋満寿男
滝口　修造
玉崎　洋一
原　弘
南　博
保積　英次
向井周太郎
向　秀男
村越　襄
山岸　寿治
山口　文象
山下　芳郎
山城　隆一
山本　茂
祐乗坊宣明

入学手続・学費

部	科	年	選考回数	選考日	願書〆切日	選考方法 学科	選考方法 実技	選考方法 面接
Ⅰ(昼)	リビング	1	2	2月16・17日(土日) 3月23・24日(土日)	2月13日 3月20日	国語(現代文) 数学(数1)英語	鉛筆デッサン　正投影図法（第三角法の理解と描図）平面構成	〃
	ドレス	1	2	12月23日　(日) 3月17日　(日)	12月20日 3月14日	国語(現代文) 英語	鉛筆デッサン	〃
		2	1	3月17日　(日)	3月14日	国語(作文) 英語	鉛筆デッサン ドレスデザイン	〃
Ⅱ(夜)	基礎造形		2	1月27日　(日) 3月31日　(日)	1月24日 3月28日	国語(作文)	鉛筆デッサン　正投影図法（第三角法の理解と描図）平面構成	〃
	ヴィジュアルデザイン		1	3月10日　(日)	3月 7日	〃	専攻に関する実技	〃
	プロダクトデザイン		1	3月10日　(日)	3月 7日	〃	〃	〃
	ドレスデザイン		1	3月10日　(日)	3月 7日	〃	鉛筆デッサン ドレスデザイン	〃

入学資格　高校卒（見込）以上たゞしⅠ部(昼)1年とⅡ部（夜）基礎造形科以外は各専門経験者　男女年令を問はない

出願手続　提出書類●入学願書（所定のもの）●写真（3枚）●最終学校の成績証明書　●身体検査書（所定のものに最寄り医師の証明のあるもの）
選考料●Ⅰ部¥3000円Ⅱ部¥2000円

願書受付　12月1日より（日曜・祭日を除き毎日一午前9時より午後5時まで）

選考　願書〆切日●選考日および方法は上記の表の通り

合格発表　各選考日の翌々日正午　校内に掲示し　合格証等の書類を渡します

入学許可　合格者は発表日から10日以内に本学事務部に所定の手続をして入学の許可を受けて下さい　この手続がおくれると入学の意志のないものと認めて補欠者に許可をあたえることがあります

部	科	学年	選考料	入学金	授業料	設備拡充費
第Ⅰ部(昼)	リビングデザイン	1	3,000	30,000	年 42,000	20,000
		2			年 42,000	
		3			年 42,000	
	ドレスデザイン	1	3,000	30,000	年 42,000	20,000
		2	(3,000)	(30,000)	年 42,000	(20,000)
		3			年 42,000	
第Ⅱ部(夜)	基礎造形科		2,000	10,000	年 30,000	5,000
	ドレスデザイン科		2,000	10,000	年 30,000	5,000
	プロダクトデザイン科		2,000	10,000	年 30,000	5,000
	ヴィジュアルデザイン科		2,000	10,000	年 30,000	5,000

入学式　昭和38年4月10日

その他　各学年への一部聴講・途中入学はできません
各学年とも修学は（4月～3月）で毎日授業となつています
第Ⅰ部は　週24時間以上　第Ⅱ部は18時間以上の授業を行います
寮・寄宿舎はありません
学割の利用ができます
案内書　¥50円

学費　学費は上記の表の通りです

その他　(　)内の学費は補欠入学者の納入するものです　第Ⅱ部の再入学者は上表の内入学金は半額とし　設備拡充費はいりません　授業料は6ケ月前納をたてまえとします●一度納入したお金はいかなる理由があつてもお返しいたしません　教材費等は入学時に説明します　他に同窓会費として入学時に1000円納入のこと

卒業後の方向

ここに掲げた図はリビングデザイン科・ドレスデザイン科を卒業後　すすみうる方向のあらましを左右の矢印で示したものです
ドレスデザイン科の卒業生はおもに百貨店・既製服会社・繊維関係商社・洋裁店のデザイナー・カツター・縫製関係　および服飾雑誌等の編集　教師　織物会社研究室・パターンデザイナーなど広い分野で活躍し好評です　就職の条件は大学卒と同様にむかえられています

リビングデザイン科の卒業生はおもにグラフィックデザイン・インダストリアルデザイン・写真・パッケージ・室内家具デザイン・ディスプレイ・デザイン教育・雑誌編集レイアウト・住宅デザイン・テキスタイルデザイン・映画・テレビなど広い分野において　会社デザイン企画部・設計部・広告宣伝部・デザイン事務所などで活躍し好評です　就職の条件は大学卒と同様にむかえられています

学校法人・桑沢学園
桑沢デザイン研究所
東京都渋谷区北谷町32
TEL（461）5330・8853